

夕日スポット(仏崎)

粟島浦村では、内浦地区からは海から昇る朝日を、
釜谷地区からは海に沈む夕日を眺めることができます。
その他にも島の各所にある夕日スポットや展望台からは、
見る人を飽きさせない、自然が生み出した絶景をご覧いただけます。

2024
夏号

CONTENTS

- 特集
- 02 市町村紹介コーナー 粟島浦村
- 04 発注者支援事業紹介
- 05 出前講座・技術セミナーのご案内
「新潟県道路損傷通報システム」のご案内
- センターINDEX
- 06 試験部からおしらせ
- 07 雪のことば・雪のこころ
- 08 編集後記
新潟の道の駅巡り 笹川流れ夕日会館
夕日と感動に逢いに行こう!

新潟県 建設技術 センターだより

市町村紹介コーナー

粟島浦村

[下越エリア]



一般財団法人
新潟県建設技術センター

<https://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18

TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854



粟島浦村

Awashimauramura

粟島浦村のプロフィール

面積／9.78km²

人口／319人(令和6年5月1日現在)

世帯数／165世帯(同上)

<https://www.vill.awashimaura.lg.jp/>

粟島浦村は、県北部の日本海に浮かぶ、一島一村で構成される県内で一番小さな自治体です。村は内浦と釜谷の2つの地区から成り、それぞれの間をコミュニティバスが走って人々を運んでいます。粟島はわずか周囲23kmでコンビニもありませんが、変化に富んだ海岸線や岩礁、起伏に富んだ地形など、バラエティ豊かな景観が楽しめます。

村内には民宿や旅館が建ち並び、どの宿に泊まっても島の食材を使った旬の料理を楽しむことができます。

粟島浦村



慌ただしい日常から少しだけ足をのばして、 ちょっとのんびりしてみませんか？

◆わっぱ煮

杉を曲げてつくった“わっぱ”という器に、焼いた白身魚と味噌を入れてお湯を注ぎ、真っ赤に焼いた石を落とし、煮立ったところでネギを加える豪快な漁師料理です。見た目も味も楽しめる粟島を代表するグルメです。



◆あわしま牧場

牧場では馬とのふれあいが楽しめます。馬場での引馬や乗馬プログラム、乗馬レッスンなど様々なプログラムを行っています。海辺で馬と触れ合える、他ではできない体験をすることができます。



◆バードウォッチング

3月下旬から10月下旬の渡り鳥の季節になると、鳥たちは島内で旅の翼を休め、体力をつけて再び飛び立っていきます。その間、島のいたるところで、しかも間近に多種多様な鳥を見ることができます。また、丸山を中心として、切石鼻と長手鼻に付された海食崖と岩島一帯が「粟島のオオミズナギドリおよびウミウ繁殖地」として国の天然記念物に指定されています。



ご当地クイズ 粟島浦村編

粟島浦村のお酒にちなんだクイズです。

粟島のじゃがいもを100%使った焼酎「んっぽん」が販売されていますが、「んっぽん」とは粟島の方言で何という意味の言葉でしょうか？

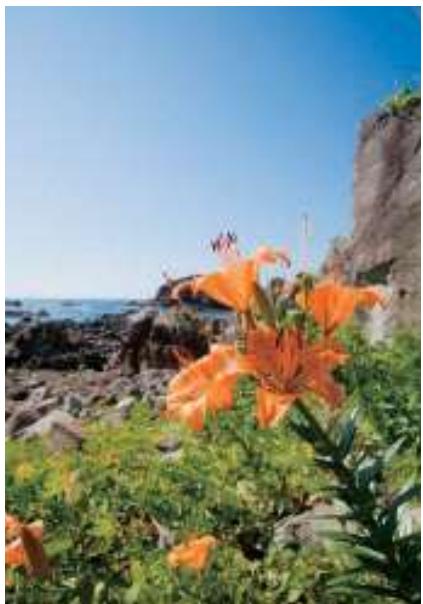
- ①お母さん
- ②感謝
- ③おいしい



// 春の見どころ //

岩ユリ

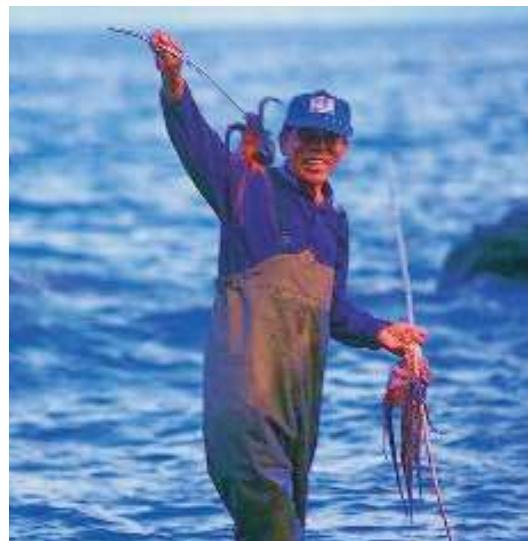
5月末から6月にかけて粟島をオレンジ色に染めるのは、岩ユリと呼ばれるスカシユリの花です。その可憐な花は、島内各所の岩場で見ることができ、心を和ませてくれます。昔のままの自然が今に生きる、粟島の美しい光景を楽しむことができます。



// 秋の見どころ //

磯ダコ捕りツアー

二本の棒を持ち、岩場をつついでタコをおびき寄せ、出てきたところをカギで捕る粟島の伝統的なタコ捕り漁法を体験します。インストラクターの指導のもと、誰でも楽しみながら捕ることができます。



島びらき

島の名物、わっぱ煮、じゃがいもを使ったコロッケやサザエの壺焼きなどの特産品を販売するほか、歓迎セレモニーや島っ子ソーラン披露といった催しもあり、まさに一大イベント。5月初旬に行われるこの「島びらき」で粟島の観光シーズンが始まります。



// 夏の見どころ //

海水浴

7月から9月中旬まで海水浴シーズンです。粟島の海は透き通ったエメラルドブルー。磯遊びや磯釣り、浜で拾ったガラスや貝で作る工作もお勧めです。海水浴場周辺にはキャンプ場も整備されていて、日本海から昇る朝日や満天の星を眺めることができます。



主なイベント (年間予定)

- 4/28 粟島一周エコマラソン
- 5/2~3 島びらき
- 6/16 粟島クリーンアップ作戦
- 9月中旬~10月下旬(予定)
磯ダコ捕りツアー



粟島クリーンアップ作戦

発注者支援事業紹介



〈1〉26号線防安雪災害(離島市町村代行)道路改良工事

工事概要

本事業は、林道内浦釜谷線を村道26号線へ移行し、岩船郡粟島浦村字佐伯～大平地内の道路改良を行い、島内交通の利便性を図ること。また、釜谷地区の災害発生時の避難路は急勾配な階段となっているため、避難所への車両移動を容易にすることを目的とした事業である。

道路区分は3種5級であり、現道縦断が約*i*=14%と急勾配であり土地の地形改変を極力避けるため、特例値の*i*=12%以下(*i*=10.9%)を採用し、設計速度V=20km/h、計画幅員W=5.0m(車道幅員W=4.0m)とする道路改良である。

本工事は、カーブ内での見通しが確保されない区間で大きな曲線半径を入れ、山側に線形を寄せた部分改良(切土、法面保護)工事である。



工事内容

工事名／

令和5年度 雪離代加 第2-00-00-01号
〈1〉26号線防安雪災害(離島市町村代行)
道路改良工事

工期／

令和5年9月～令和6年3月

発注者／

新潟県村上地域振興局 地域整備部

工事概要／

施工延長 L=70.4m
掘削工 V=3,560m³、残土処理 V=3,560m³、
法面保護工 A=330m²、
植生基材吹付工 A=360m²、
モルタル吹付工 A=143m²

着手前



竣工



材料確認



現場技術者 から一言

現場技術員 伊藤 武利

本工事は、施工中は現道の通行止めが必要となり、地元住民や耕作者との協議調整が必要でした。私は、発注者、村職員、工事受注者の工事関係者が開催する地元説明会に随行し、地元の要望を把握しました。また、施工地が粟島浦村に位置することから、現地での立会は、気象条件による延期も想定されることに加えて、宿泊(気象条件によっては延泊)が必要となりました。このため、施工調整会議や材料確認等をリモートで対応することにより、工事の品質を確保した上で、関係者の負担を軽減しました。

今後は、遠隔臨場に加えて、職員の働き方改革やDXを推進する新潟県の取組に追随し、当法人におけるデジタル化を含む組織の技術力と生産性を向上させて、持続可能な地域社会の構築に寄与していきたいと思います。

出前講座

- 社会資本整備に関する「知りたいこと」「聞きたいこと」について、センター職員が直接出向き分かりやすくお話しする講座です。
- 出前対象は自治体(県地域機関、市町村)となります。
- 講座時間は概ね90分です。

人気講座

- ・施工管理・安全管理について
- ・コンクリート・アスファルトについて
- ・CBR試験はなぜ必要か
- ・土質試験データの積算・施工管理への反映についてなど



詳しくは当センターHPをご覧ください▶ <https://www.niigata-ctc.or.jp/kenshu/demae>

技術セミナー 無料

技術セミナーとは

当センターでは、公益活動の一環としてコンクリートに特化した無料の「技術セミナー」を平成23年度から毎年度、継続して開催しています。

本セミナーでは、コンクリート技術に関する経験豊富な講師により、コンクリートに関する専門的な知識や最新技術を解りやすくお伝えしています。また、セミナーを通じて先人たちが築き上げてきた雪国新潟ならではの技術や知恵と工夫を振り返り、現役技術者をはじめ、これからを担う若手技術者へ継承していくと共に、地域社会の未来に繋がるコンクリート技術のあるべき姿を毎回、テーマとして解説しています。

年度	実施月日	会場	詳細	認定プログラム
令和6年度	R6.11月～12月	Web開催	R6.10月上旬、当センターHPで公開します。	土木CPDS・建築CPD

新潟県道路管理課からのお知らせです

LINE公式アカウント「新潟県道路損傷通報システム」

道路の不具合を見つけたら
「LINE」してください

LINEアプリを起動し、
QRコードから
友だち登録をお願いします。



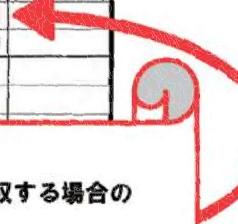
詳細は「新潟県道路損傷通報システム」で検索してご確認ください。

新潟県道路損傷通報システム



試験部からおしらせ

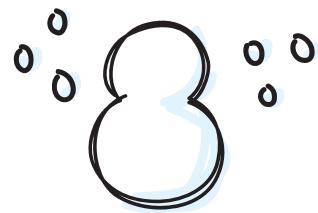
令和6年5月1日から
「試験申込書」と「コンクリート試験手数料」を変更しました。

試験申込書 [コンクリート]		C 第	号
申込者	住 所	TEI	—
		F	—
コンクリートの圧縮強度・曲げ強度試験 【長岡支所へ直接お持ち込み】 長岡支所へ供試体を直接お持ち頂いた場合の手数料となります。			
1. 圧縮強度試験 (3本/組) 3,700円(税抜き) 2. 曲げ強度試験 (3本/組) 5,300円(税抜き)			
<small>てにご請求させて頂きます。 報告書の宛名となります。</small>			
<small>付き報告書に記載する住所となります。 請求書の郵送先以外の住所に発送する 特記事項に住所を記載して下さい。</small>			
長岡支所			
試験項目		単位	手数料(円)
		数量	単価(税抜) 金額
1. コンクリートの圧縮強度試験		3本/組	3,700
2. コンクリートの曲げ強度試験		3本/組	5,300
3. コンクリートから抜き取ったコアの圧縮強度試験		1本	1,300
4. コンクリート強度試験用供試体の切断		1断面	1,800
5. コンクリート強度試験用供試体の上面仕上げ		1面	2,000
6. コンクリート試験用供試体の回収(3本まで)※生コン工場に限る		1件	500
7. 副本		1部	400
小計 消 費 税			
			
工事名等 施工地名 打込箇所 生コン工場名			
呼び方 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 締装 <input type="checkbox"/> 軽 打設年 養生方法 <input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 供試体寸法 <input type="checkbox"/> Φ5 <input type="checkbox"/> 圧縮Φ4 <input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 新潟県 <input type="checkbox"/> 報告書の受取方法 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 供試体返還の要否 <input type="checkbox"/> 「不要」:廃棄 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 試験状況写真 <input type="checkbox"/> 試験結果速報希望 <input type="checkbox"/> メルアドレス:			
コンクリート試験用供試体の回収 当センターが生コン工場から供試体を回収する場合の手数料となります。 6. 供試体の回収 (3本まで) 1件 1,200円(税抜き) 【ご確認をお願いします】 供試体の回収をご希望される場合は、ご記入ください。			
 新潟県建設技術センター ←  ←  長岡支所 センター車 生コン工場			
供試体番号 供試体質量・荷重 特記事項		建設技術センター使用欄 申込区分 <input type="checkbox"/> ISO17025 <input type="checkbox"/> 未対応	採取者 <input type="checkbox"/> 顧客
		試料受入 	納品

《試験事業のDX化を進めます》

令和6年度から試験事業のDX化を進め、
スピード感あるサービスの提供に向け取り組んでいきます。
電子申請・電子納品のシステム設計をスタートします。

雪のことば・雪のこころ



2023～24年の少雪と雪ダム構想1

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 真

2023～24年の冬期は集中した降雪による障害も発生しましたが、1月2月は暖冬少雪で推移しました。2024年元日の能登半島地震被災地への雪の影響も危惧されましたが、今年の冬だけは少雪で良かったと思っています。ただ、代掻き期の水不足のニュースも流れているのも現実です。

新潟地方気象台と気象庁アメダス湯沢での年最大積雪深と年最大日降雪量の推移を図1に示しました。最近は降雪も積雪も多い冬と少ない冬が極端になって出現しているような傾向が新潟でも湯沢でも見られます。

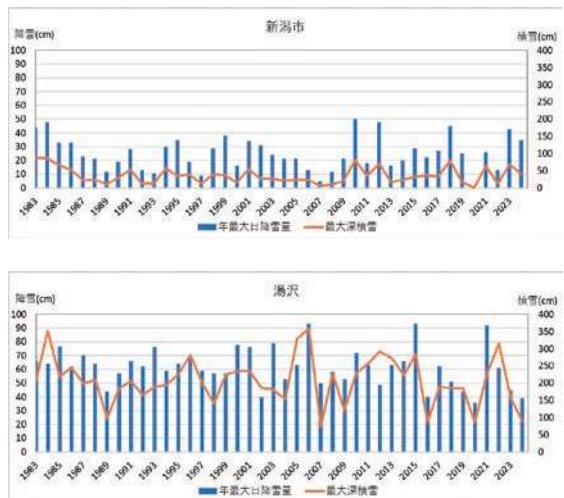


図1 気象庁アメダス新潟、湯沢における年最大積雪深、年最大日降雪量

今年や2019～20年のような少雪の年では融雪が早まり、水不足の恐れが増します。2023年の夏～秋にかけては雨も少なく、農業用水が不足する事態となり、猛暑も加わって米の生産に影響が出ました。

雪を秋まで残すこと。これができるば厄介な雪を逆手にとれます。おおざっぱな計算をしてみましょう。融雪期には、1日に平均気温(°C)と同じ量の雪(cm)、10°Cならば10cm、20°Cならばおおよそ20cm融けます。新潟県湯沢アメダス(標高約300m)の4月～9月の平均気温は約18°Cですの

で、この半年で融ける量は積雪にして18cm×180日=32m。これだけの膨大な雪が無いと9月まで雪は持たません。標高100mで0.8°C下がるとして標高1000m(たとえば湯沢高原スキー場)では約20m、標高1800m(かぐらスキー場)では約15mの積雪が必要となります。湯沢の積雪は2～3mですから、自然のままで自然是当然融けてしまいます。雪を9月まで残すには雪の量を増やすか、融ける量を減らすことが必要です。雪面をシートで覆うと約半分が融雪、これでも6月には雪は融けてしまいます。断熱材で上手に覆うと、融雪量は2～3割に抑制されるという実験結果も出ましたので、ここまでできれば標高1800mでは9月まで雪が残る可能性が出てきます。さらに、雪の量を人工の雪崩や吹き溜まり、降雪などで増やすことができれば、雪を秋まで残せる可能性がさらに出でてきます。

1980年代には「人工氷河」構想が大手ゼネコンから出されました。ここではシートによる融雪抑制と人工降雪で氷河成長の可能性を検討しています。その後、1990年代にかけて当時の建設省北陸地方建設局と新潟県で「雪ダム」が検討されました。現地調査やシミュレーションによって、人工雪崩や融雪抑制による効果を見積もり、ダムの高さをどのくらい減らせるかが検討されましたが、法的な網がかかるといい標高の低い所では、なかなかペイできないという結果となっていました。私もこのプロジェクトに関わっていましたが、気温が低くないとできない人工降雪、風や雨にも負けない融雪抑制方法、起こしたいときに起きない人工雪崩など、現地試験を通じて難しさを痛感していました。火打山の高谷池ヒュッテをベースにした矢代川水系の澄川雪渓への毎日片道2時間の現地調査、秋には穴だらけの雪渓の下の「幻の滝」付近で、雪渓が越年している証拠である年層境界を発見するなどいろいろ経験させていただきました。

今後この経験を活かして現在の社会情勢にマッチした「雪ダム」構想をさらに検討したいと思います。

新潟の道の駅巡り

vol.01

笹川流れ夕日会館

笹川流れ夕日会館は村上市山北地域の観光・物産の拠点施設として1993年12月にオープンし、翌1994年4月には「道の駅笹川流れ」として、道の駅の登録をおこなっています。

JR羽越本線の桑川駅に隣接した全国的に珍しい造りの道の駅であり、車や鉄道を利用した観光客が集う、村上市山北地域の観光拠点として機能しております。

当施設の魅力は何と言っても海！国指定名勝天然記念物の笹川流れの区域内に立地しており、国道345号を跨ぐサンセットブリッジからは四季折々の姿を見せる日本海や粟島を眺めることができます。

当施設は大きく分けて3つのエリアに分かれており、観光案内や物産販売のコーナー、カフェコーナー、レストランでそれぞれ、山北地域をはじめとした村上市の食の魅力をPRしております。特に、土日祝日にはJR東日本が運行する観光列車「海里」の長時間停車駅(冬季間を除く)となっており、カフェコーナーでは停車時間限定のソフトクリームが、レストランではつみれ汁が販売され、多くのお客様にご利用いただいております。

当施設ではファミリー向けの取り組みとして、飲料水の他におむつやおしりふきが購入できる子育て自販機の導入や、レストラン内の和室を活用して乳児スペースを整備しております。また、地元企業や住民向けに弁当やオードブルの販売や各種イベントへの出店を行っており、季節問わず多くのお客様にご利用いただけるような取り組みを行っております。

これからの季節で一番の目玉は何と言っても夏の岩がき。日本海の荒波に揉まれて育った岩がきは、海のミルクとも言われる濃厚な味、そして磯の香りが特徴です。6月から8月までの限定販売になります。また、7月中旬になると海水浴場もオープンしますので、ぜひ、夏の笹川流れ、そして道の駅笹川流れにお越しください。

村上市 山北支所 産業建設課 佐藤 優樹



1.[日本海ソフトクリーム]日本海をイメージした水色のソフトクリーム。ミネラル工房の塩をシロップにして混ぜ合わせたソフトクリームは、ほのかな塩味が特徴で飽きが来ない、当施設名物の逸品です。
2.[ブリカツ丼]山北地域産のコシヒカリの上に笹川流れ近海で水揚げされたブリを揚げて乗せた、レストランの一押しメニューです。オリジナルのワサビマヨネーズでお召し上がりください。
3.[日本海の海塩]日本海のミネラルが溶け込んだ海水を、こだわりの製法で濃縮し煮詰めました。精製塩にはない自然の甘さを感じる「塩」がここにはあります。



笹川流れ夕日会館

〒959-3665 新潟県村上市桑川1891番地1

TEL.0254-79-2017

営業時間:(1F)観光案内センター、特産品コーナー(営業時間9:00~18:00)

カフェコーナー(営業時間10:00~17:30)

(2F)夕日レストラン(営業時間11:00~19:00)

休館日:4月~10月…毎月最終水曜日、11月~3月…毎週水曜日、年末年始

※夏季期間は営業時間延長、冬季期間は営業時間短縮

皆様、こんにちは。センターだより「夏号」をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

今年の夏は、皆様いかがお過ごしでしょうか。この季節、私たちは新潟の豊かな自然と共に、地域のインフラ整備に関わる多くのプロジェクトに取り組んでいます。緑豊かな山々、清らかな川、そして広がる田園風景の中で、私たちの技術が地域社会の発展に貢献できることを、大変嬉しく思います。

また、夏の暑さに負けず、センターの職員一同、日々の業務に励んでおります。読者の皆様には、本誌を通じて、私たちの活動や情熱を感じていただければ幸いです。

次号も、編集チーム一丸となって取り組んでまいります。どうぞ、お楽しみに。

最後になりましたが、暑い夏を乗り切り、皆様が健やかな日々をお過ごしになれますように。

編集委員 企画調査部 本田 文良